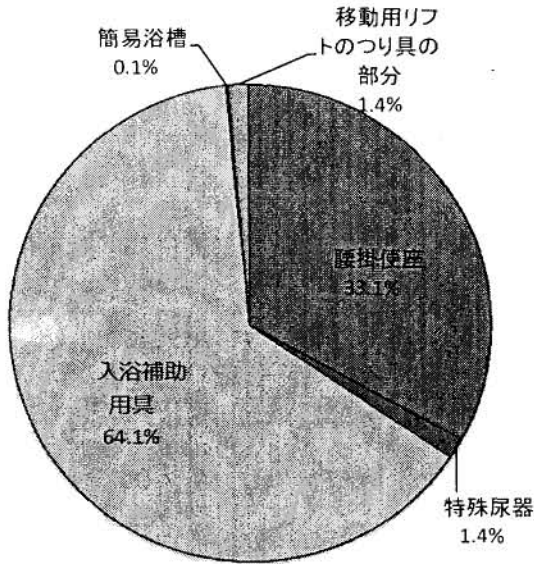


【特定福祉用具販売の状況②】

- 特定福祉用具販売では、腰掛便座及び入浴補助用具で全体の約97%を占めている。
- 種目毎の利用割合を要介護度別に見ると、腰掛便座・入浴補助用具ともに軽・中度者の利用が中心となっている。

特定福祉用具販売の請求件数内訳



特定福祉用具販売の要介護別・種目別利用割合

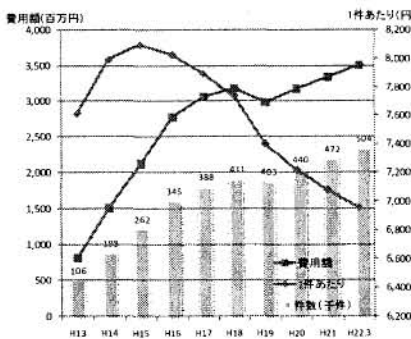
種目	要支援		要介護		要介護		要介護		総数
	1	2	1	2	3	4	5		
腰掛便座	761	1440	2,470	3,285	2,978	1,568	549	13,051	
	5.8%	11.0%	18.9%	25.2%	22.8%	12.0%	4.2%	100%	
特殊尿器	12	40	89	118	136	101	47	543	
	2.2%	7.4%	16.4%	21.7%	25.0%	18.6%	8.7%	100%	
入浴補助用具	2,729	4,081	6,146	5,672	4,173	1,844	650	25,295	
	10.8%	16.1%	24.3%	22.4%	16.5%	7.3%	2.6%	100%	
簡易浴槽	8	12	2	2	8	9	8	49	
	16.3%	24.5%	4.1%	4.1%	16.3%	18.4%	16.3%	100%	
移動用リフトのつり具の部分	24	35	63	107	123	99	96	547	
	4.4%	6.4%	11.5%	19.6%	22.5%	18.1%	17.6%	100%	

(上段:販売件数、下段:構成割合)

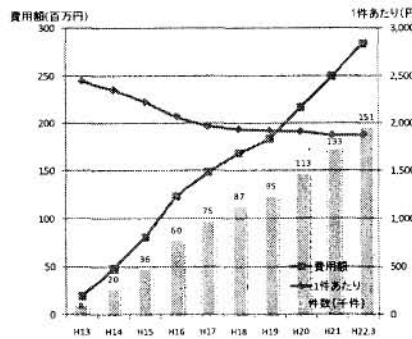
※ 介護サービス情報公表制度により登録されたデータを基に集計(平成20年7月時点)

福祉用具貸与費の種目別給付額と1件あたり平均利用額の推移①

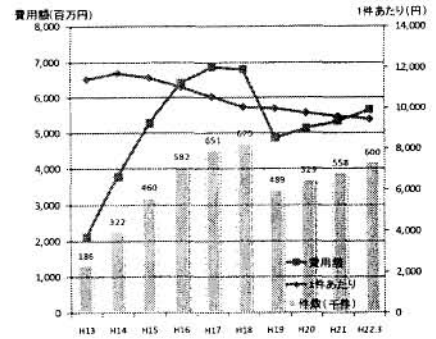
車いす



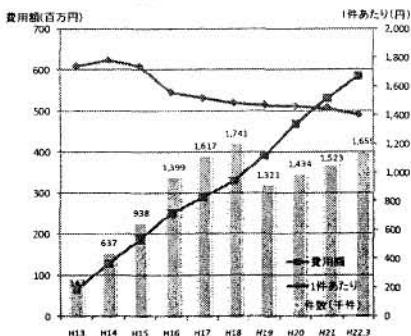
車いす付属品



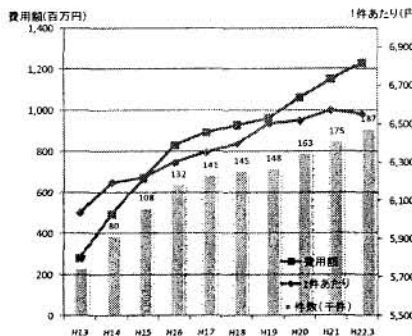
特殊寝台



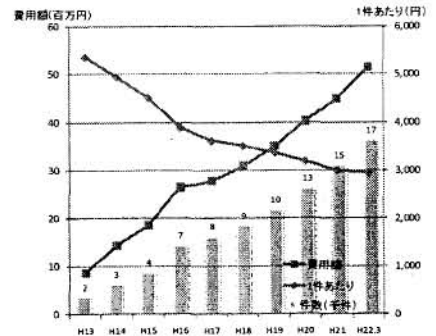
特殊寝台付属品



床ずれ防止用具

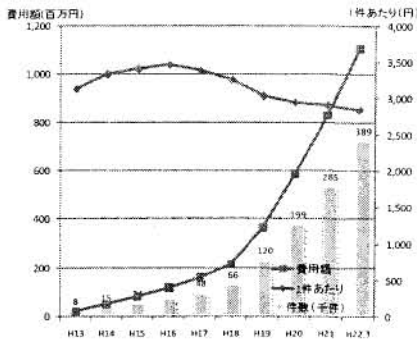


体位変換器

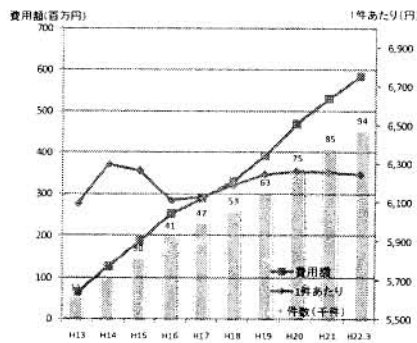


福祉用具貸与費の種目別給付額と1件あたり平均利用額の推移②

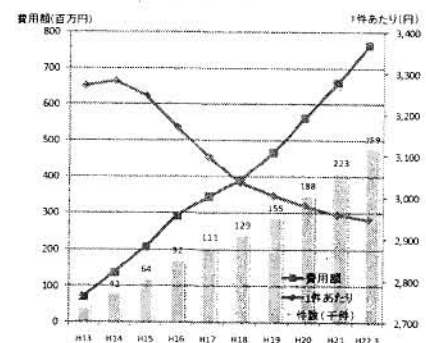
手すり



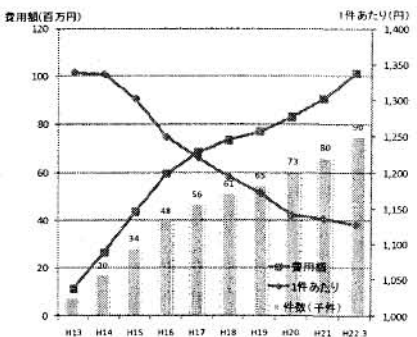
スロープ



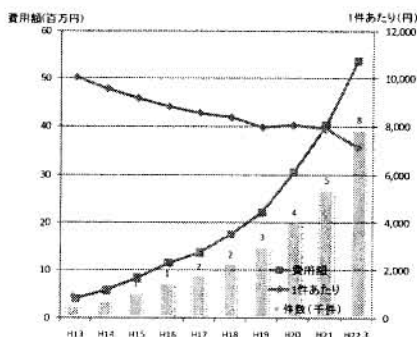
歩行器



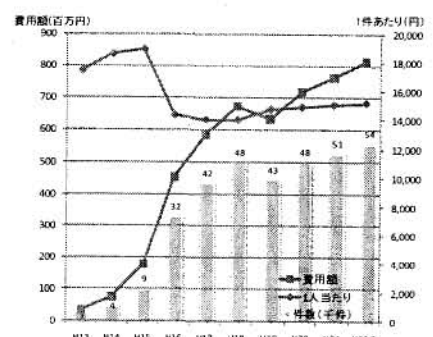
歩行補助つえ



認知症老人徘徊感知機器



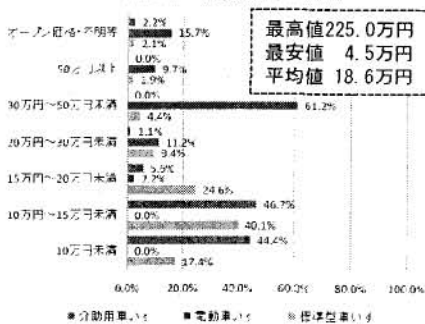
移動用リフト



出典：介護給付費実態調査月報(各年4月サービス提供分) 12

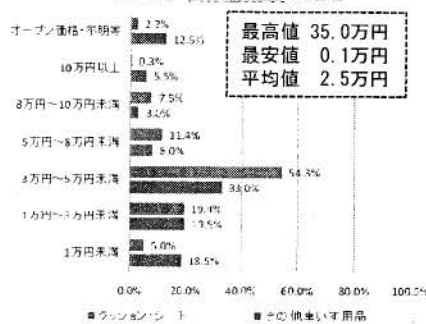
種目別希望小売価格の状況(貸与)

車いす



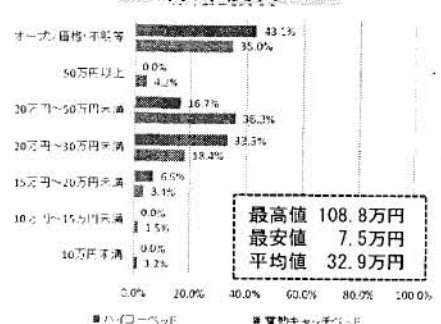
最高値 225.0万円
最安値 4.5万円
平均値 18.6万円

車いす付属品



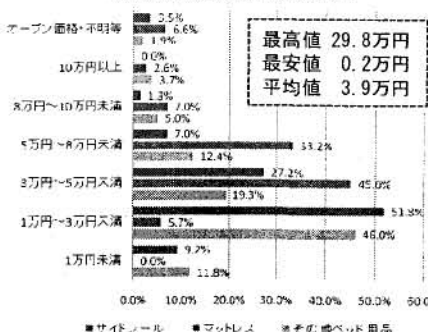
最高値 35.0万円
最安値 0.1万円
平均値 2.5万円

特殊寝台



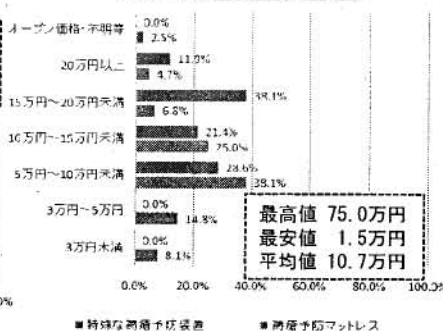
最高値 108.8万円
最安値 7.5万円
平均値 32.9万円

特殊寝台付属品



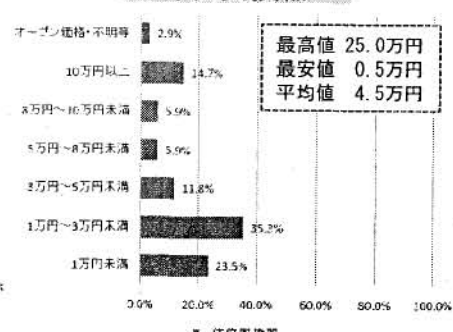
最高値 29.8万円
最安値 0.2万円
平均値 3.9万円

床ずれ防止用具



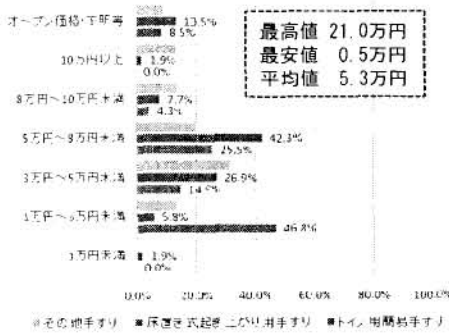
最高値 75.0万円
最安値 1.5万円
平均値 10.7万円

体位変換器

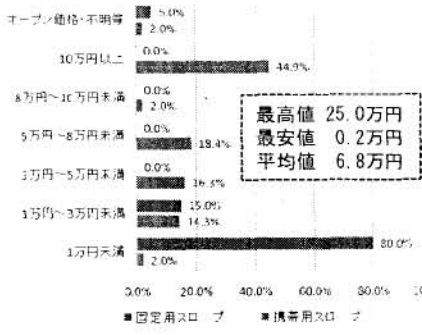


最高値 25.0万円
最安値 0.5万円
平均値 4.5万円

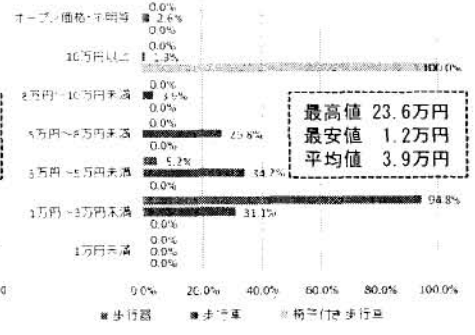
手すり



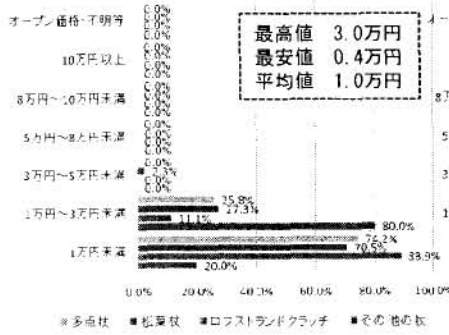
スロープ



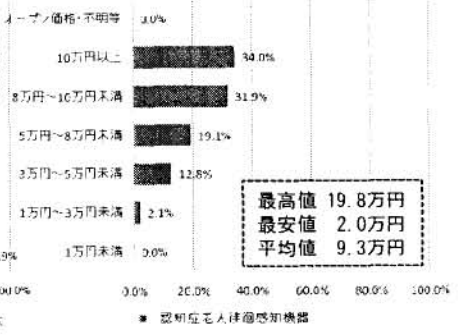
歩行器



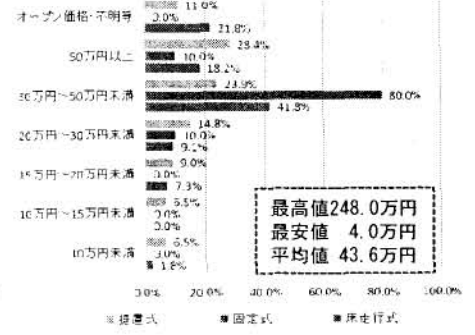
歩行補助つえ



認知症老人徘徊感知機器



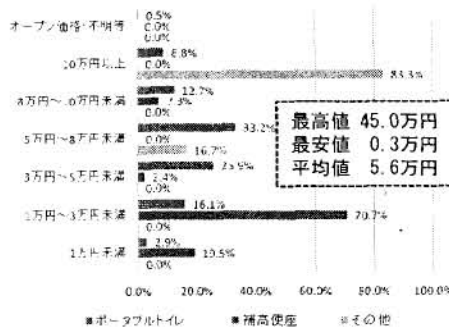
移動用リフト



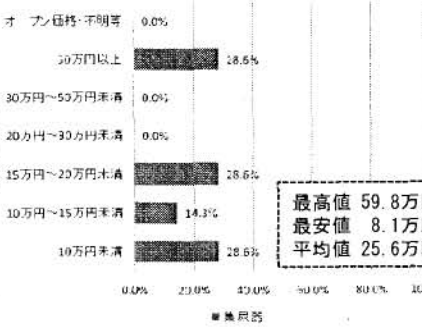
(平成22年5月現在のTAIS登録製品における状況) 14

種目別希望小売価格の状況(販売)

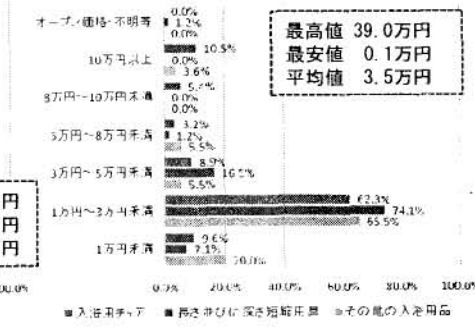
腰掛便座



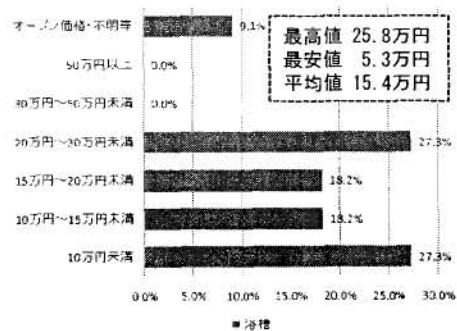
特殊尿器



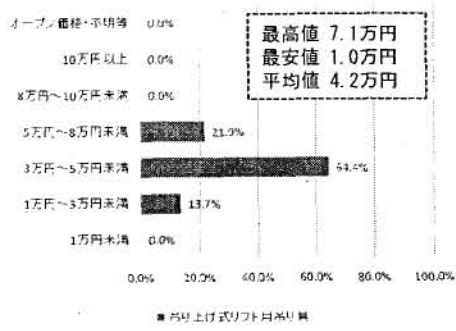
入浴補助用具



簡易浴槽



リフト吊り具

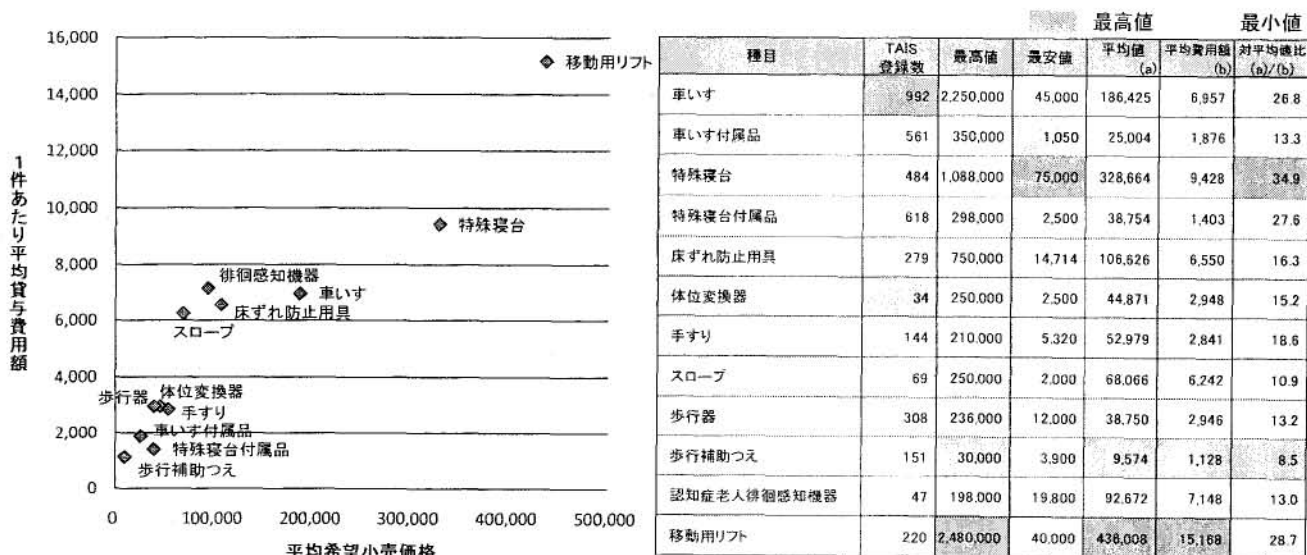


(平成22年5月現在のTAIS登録製品における状況) 15

希望小売価格に対する費用額の状況

- 希望小売価格の平均と費用額がともに最高値であるのは移動用リフトであり、一方で、ともに最低値であるのは歩行補助つえである。
- 希望小売価格の平均に対する1件あたり費用額の平均は18.9ptであり、最高値は特殊寝台(34.9pt)であり、最低値は歩行補助つえ(8.5pt)である。

【平均希望小売価格に対する1件あたり費用額(貸与)の状況】



※「平均値」:TAISに登録された希望小売価格の単純平均
 ※「平均費用額」:福祉用具貸与単位数÷件数(介護給付費実態調査平成22年3月) 16

国保連合会介護給付適正化システムの改修について

【平成21年度介護報酬改定に関する審議報告】(第62回介護給付費分科会抜粋)

福祉用具貸与の価格については、同一製品で非常に高額になるケース等(いわゆる「外れ値」)が一部存在していること等を踏まえ、競争を通じた価格の適正化を推進するため、製品毎等の貸与価格の分布状況等の把握・分析・公表や、介護給付費通知における同一製品の貸与価格幅等の通知を可能とするなど、都道府県、市町村の取組を支援する。



国民健康保険中央会より国保連合会介護給付適正化システムの改修

- ・国民健康保険中央会のご協力のもと、国保連合会介護給付適正化システムを改修いただき、新たに検索条件等を拡充
- ・当該システムの積極的な活用を要請したところであり、今後とも、介護給付費通知の発出等、競争を通じた価格の適正化に係る施策を推進するよう依頼
(国保連合会介護給付適正化システムの改修における福祉用具の介護給付の適正化の推進について(平成21年6月17日付事務連絡))